

発行日 07-8-2020

改訂日 07-8-2020

改定番号 1

日本 / 日本語 (Japanese)

1. 製品および会社情報

製品特定名

製品名 UltraPrep Diamond Grinding Discs

製品コード 14-2081, 14-2082, 14-2083, 14-2085, 14-2580, 14-2581, 14-2582, 14-2583, 14-2585, 14-3080, 14-3081, 14-3082, 14-3083, 14-3085, 15-6106, 15-6109, 15-6115, 15-6145, 15-6170, 15-6199, 15-6206, 15-6209, 15-6215, 15-6245, 15-6270, 15-6299

(M)SDS番号 1392374_J

その他の識別手段

別名 情報なし

登録番号 情報なし

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Laboratory Use Only

推奨されない用途 情報なし

安全データシート 提供者の詳細

製造者 Buehler

製造者の住所 住所: 〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 6F

電話番号 電話番号: 03-5439-5077

メールアドレス info.japan@buehler.com

法人 ITWジャパン株式会社

本店住所 本店住所: 東京都江東区北砂一丁目4番4号

緊急連絡電話番号

Global Access Code: 334545
Asia Pacific: +1 760 476 3960
Americas: +1 760 476 3962
Middle East/Africa: +1 760 476 3959
Europe: +1 760 476 3961
Japan: +81 36 8908677

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚感作性	区分 1
発がん性	区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1
区分 1 呼吸器系	
水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

ラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351 - 発がんのおそれの疑い

H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害: 呼吸器系.

注意書き - 安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと

保護手袋を着用すること

指定された個人保護具を使用すること

環境への放出を避けること

注意書き - 応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること

注意書き - 保管

施錠して保管すること

注意書き - 廃棄

内容物/容器を適用される現地、地域、国、および国際規則に従って廃棄すること

その他の危険有害性

該当しない

3: 組成及び成分情報**化学物質**

該当しない

混合物

化学物質名	重量%	化審法 - 日本既存及び新規化学物質	安衛法番号	CAS No.
Nickel	30 - 50%	-	情報なし	7440-02-0
Diamond	0.2 - 15%	情報なし	情報なし	7782-40-3
Crossbacking mixture	30 - 75%	情報なし	情報なし	MIXTURE
Curing resin	10 - 20%	情報なし	情報なし	MIXTURE
Pressure Sensitive Adhesive (PSA)	0 - 10%	情報なし	情報なし	MIXTURE

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す。

化学物質名	重量%	クラス	政令番号	関連物質、変換係数
Nickel 7440-02-0	30 - 50%	第1種指定化学物質	1-308	

労働安全衛生法

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係)

化学物質名	通知対象物質	閾値(%)
Nickel 7440-02-0	通知対象物質	0.1

毒物及び劇物取締法 該当しない

化学物質名	毒物及び劇物	閾値(%)
Nickel 7440-02-0		0.1

4. 応急措置

応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。ばく露又はばく露の懸念のある場合：医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。ばく露又はばく露の懸念のある場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼接触	直ちに少なくとも15分間まぶた(眼)の裏側まで多量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗うこと。直ちに少なくとも15分間水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口を水でよくすすぐこと。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。
症状	吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。咳および/または喘鳴、掻痒感、発疹、じんま疹。
応急措置をする者の保護	医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。
医師に対する特別な注意事項	敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5: 火災時の措置

引火性特性	引火性でない。
適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
大規模火災	警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。吸入および皮膚接触により感作を引き起こすことがある。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素.
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること.
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない. 個人用保護具を使用すること.

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. 十分換気されているか確認すること. 指定された個人保護具を使用すること. 人員を安全な区域に退避させること. 人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること.
その他の情報	7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること.
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること.
環境に対する予防措置	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと.
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと.
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと.
二次危険有害性の予防	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること.
参照すべき項	詳細は8項を参考する. 詳細は13項を参照する.

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと. 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. 十分換気されているか確認すること. 放出が発生する場所には排気換気を設けること. 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する. この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと. 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと. 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること.
----------	--

保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること. 施錠して保管すること. 子供の手の届かない場所に保管すること.
一般的な衛生注意事項	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する. この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと. 汚染された衣類および手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること. 休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと.

8: ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学物質名	日本	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Nickel 7440-02-0	TWA: 1 mg/m ³	0.1 mg/m ³	TWA: 1.5 mg/m ³

生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
---------------	-------

技術的対策	シャワー 洗眼場 換気システム.
<u>個人用保護具</u>	
眼／顔の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること.
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する.
手の保護具	適切な手袋を着用する.
呼吸器の保護	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
環境ばく露防止	情報なし.

9: 物理的及び化学的性質

<u>物理的及び化学的性質</u>	<u>値</u>	<u>備考 方法</u>
物理的状态	固体	
外觀	固体	
臭い	情報なし	
色	情報なし	
臭いのしきい値	該当しない	
<u>特性</u>		
pH	データなし	知見なし
融点／凝固点	データなし	知見なし
沸点／沸点範囲	データなし	知見なし
引火点	データなし	知見なし
蒸発速度	データなし	知見なし
燃焼性(固体、気体)	データなし	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
可燃性上限	データなし	
可燃性下限	データなし	
蒸気圧	データなし	知見なし
蒸気濃度	データなし	知見なし
相対密度	データなし	知見なし
水への溶解度	情報なし	
溶解度	データなし	知見なし
n-オクタノール／水分配係数	Not Applicable	
自然発火温度	データなし	知見なし
分解温度	データなし	知見なし
動粘性率	データなし	知見なし
粘度	データなし	知見なし
爆発特性	情報なし	
酸化特性	情報なし	
<u>その他の情報</u>		
軟化点	情報なし	
分子量	情報なし	
VOC含有率(%)	情報なし	
蒸気濃度	情報なし	
かさ密度	情報なし	
粒径	情報なし	
粒径分布	情報なし	

10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性	情報なし.
安定性	通常の条件下で安定.
爆発データ	
機械的衝撃に対する感度	なし
静電放電に対する感度	なし
危険有害性反応の可能性	通常のプロセスではない.
危険有害な重合	危険有害性の重合は発生しない.
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし.
危険有害な分解生成物	二酸化炭素.

11: 有害性情報

急性毒性

製品情報

吸入した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない. 敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある.(成分に基づく).
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない.
皮膚に付着した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない. 反復または長期にわたる暴露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある.(成分に基づく). 皮膚接触により感作を引き起こすことがある.
飲み込んだ場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。「吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ.
症状	アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある. 咳および/または喘鳴、掻痒感、発疹、じんま疹.

毒性の数値尺度 - 製品情報

未知の急性毒性	混合物の 100 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている
混合物の 30 %は急性経口毒性が未知の成分から成る	
混合物の 100 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る	
混合物の 100 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る	
混合物の 100 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る	
混合物の 100 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る	

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学物質名	Oral LD50	Dermal LD50	吸入 LC50
Nickel 7440-02-0	> 9000 mg/kg (Rat)	-	> 10.2 mg/L (Rat) 1 h

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性／皮膚刺激性	情報なし。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	吸入により感作を引き起こすことがある。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
生殖細胞変異原性	情報なし。
発がん性	発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。発がんのおそれの疑い。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学物質名	発がん性	IARC
Nickel 7440-02-0	2	Group 2B

凡例:

IARC(国際癌研究機関)
グループ2B - ヒトに対する発がん性が疑われる

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	国または地域で採用され、安全データシートが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE). 臓器の障害。
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	国または地域で採用され、安全データシートが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は慢性または反復したばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT RE).
標的臓器影響	皮膚. 呼吸器系. 眼. 胃腸管(GI). 中枢血管系(CVS). 肺. 鼻腔. 腎臓.
吸引性呼吸器有害性	情報なし。

12: 環境影響情報**生態毒性**

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

化学物質名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	微生物に対する毒性	Daphnia magna(オオミジンコ)
Nickel	72h EC50: = 0.18 mg/L (Pseudokirchneriella subcapitata) 96h EC50: 0.174 - 0.311 mg/L (Pseudokirchneriella subcapitata)	96h LC50: > 100 mg/L (Brachydanio rerio) 96h LC50: = 1.3 mg/L (Cyprinus carpio) 96h LC50: = 10.4 mg/L (Cyprinus carpio)	-	48h EC50: > 100 mg/L 48h EC50: = 1 mg/L
Diamond	-	96h LC50: > 100 mg/L (Oncorhynchus mykiss)	-	-

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 この製品のデータはない。

土壌中の移動性	情報なし.
移動性	情報なし.
その他の有害影響	情報なし.

13: 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること. 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること.
汚染容器及び包装	空容器を再利用しないこと.

14: 輸送上の注意

<u>IMDG/IMO</u>	規制されていない
<u>ADR</u>	規制されていない
<u>IATA</u> 正式輸送品目名	規制されていない NON REGULATED
<u>日本</u> 危険有害性クラス	N/A

15: 適用法令

化学物質または混合物に固有の安全、衛生および環境規則/法令

国内規制

日本

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法

表示物質

安衛法表示対象物質: 労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生法規則第33条関係)

通知対象物質

安衛法通知対象物質: 労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生法規則第34条の2の4関係)

化学物質の審査及び製造物の規制に関する法律(化審法)
該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

水道法

水道法第4条、水質管理目標設定項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第2条、第1段落、第3項及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

オゾン破壊物質(OD) 該当しない

残留性有機汚染物質 該当しない

輸出届出要件 該当しない

国際インベントリー

TSCA	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
DSL/NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
EINECS/ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
化審法インベントリ	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AICS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16: その他の情報

作成者	Product Stewardship 23 British American Blvd. Latham, NY 12110 1-800-572-6501
発行日	07-8-2020
改訂日	07-8-2020
改訂記録	情報なし

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**8: ばく露防止及び保護措置**

TWA	TWA(時間加重平均)	STEL	STEL(短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候
c	発がん物質		

免責事項

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処

理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。



このSDSは、以下で特定されている供給者がUL SDSテンプレートを用いて作成したものです。ULは、このSDSに記載されている物質について、試験も、証明も、承認もしておらず、このSDSに記載されている全ての情報は供給者が提供したもの又は一般公開されている規制データ源から転載したものです。ULは、このSDSに記載されている情報の完全性に対しても、正確さに対しても、一切の表明も保証も行わず、さらにこの情報の使用に関しても、このSDSに記載されている物質の使用に関しても、一切の責任を否認します。このSDSのレイアウト、外観及び書式はUL LLCの著作物です。© 2014 UL LLC. 著作権所有。

安全データシートのおわり